三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2018. 10. 29 No.2291 No.13

Rotary

会長挨拶

三条南ロータリークラブ副会長

大溪 秀夫

Hideo Ohtani

ロータリーに
参加して
楽しもう

皆さん、こんにちは。

台風 25 号が九州北部から日本海へ抜けた、この 10 月 6 日～8 日に大分県の別府と湯布院の温泉へ夫婦で行って来ました。今まで九州の中で大分県と鹿児島県には行ったことがなかったので、初めての大分県でした。

別府温泉は源泉数 2,217 孔、湧出量 83,058 ℓ/分で共に日本一であります。土曜日の午後に出発し、羽田空港から大分空港まで 1 時間 30 分で着きました。一泊目の別府温泉の宿では、関あじなどのお刺身を美味しく頂きましたが、全体的に醤油の味が濃く甘く口に合いませんでした。

翌日はレンタカーを借り、“地獄めぐり”から観光に入りました。“地獄”という名称の由来は、鉄輪（かななわ）、亀川の地域一帯は千年以上も昔より噴気、熱泥、熱湯などが噴出していたことが「豊後風土記」に記されていて、近寄ることのできない忌み嫌われた土地であったと言われていました。そんなところから、人々より“地獄谷”と称されるようになったそうです。“地獄”は7つあり、海地獄・鬼石坊主地獄・かまど地獄・鬼山地獄・白池地獄・血の池地獄・龍巻地獄です。

このうち、「国指定名勝」いわゆる、国が指定した文化財の一つであり、特に名勝は優れた景勝地のことを指しますが、これに温泉としては全国で初めて、海・血の池・龍巻・白池の4つの地獄が選ばれました。指定理由は、「日本古来の温泉地として名高い別府の中でも、独特で多様な色彩・形態の下に湧出する鑑賞上の価値、名所的・学術的価値の高い良源である。」ということです。私の主観では、海地獄が一番好印象で、源泉もさることながら、池に浮かぶ睡蓮の艶やかさ、日本一の「鬼大蓮（オニオオバス）」も見どころでした。

この地獄めぐりで2時間ほど費やしましたので、午後からは大分県北部の宇佐神宮に行くことにしました。宇佐神宮は全国に4万社余ある八幡社の総本宮であり、725年(神亀2年)に建てられています。本殿の一之御殿には第15代応神天皇の御神霊、八幡大神が祀られています。また、一之御殿、二之御殿、三之御殿と3棟が並ぶ本殿は、八幡制という、古来の様式を今に伝える貴重な建築として国宝に指定されています。そして宇佐神宮は境内に神宮寺を建てるなど、いち早く外来の仏教を取り入れ、神仏習合文化を成立させました。鮮やかな朱色で彩られた建造物は凛とした威容を誇って美しく、深緑の林に映えていました。

その晩は湯布院温泉に宿泊し、大分名物の“だんご汁”をいただきました。由布岳を望みながら入る湯量の多い広い露天風呂が最高でした。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

Rotary

インスピレーションに なるう

国際ロータリー会長 バリー・ラシン [バハマ]
 第2560地区ガバナー 川瀬 康裕 [三条]
 第4分区ガバナー補佐 久住 勲夫 [分水]
 会長 田代 徳太郎
 幹事 永桶 俊一
 S A A 石山 昌宏

事務局
 〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店 内
 TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
 E-mail info@sanjo-minami.jp
 U R L http://www.sanjo-minami.jp

3日目は温泉街の探索もせず、大分県南部にある、国宝「臼杵石仏」を観てきました。臼杵石仏は凝灰岩の岩壁に刻まれた摩崖（まがい）仏群で平安時代後期から鎌倉時代にかけて彫られたと言われてはいますが、誰がどのような目的で造営したのか、はっきりしたことはわかっていません。昭和55年から14年間に及び保存修復工事が行われ、その際に長年頭部のみの姿で親しまれた古園（ふるその）石仏中尊の大日如来像も胴と一体になりました。そして平成7年6月に摩崖仏では全国初、彫刻においても九州で初めて国宝に指定されました。さらに今年新たに2体の金剛力士像が指定を受け、4群61体すべてが国宝になっています。木彫りと見まがうばかりの見事な彫刻技術と仏の数では他に類を見ることなく、高い評価を得ているそうです。

次に向かったのは、石仏群から20km離れたところにある、風連鍾乳洞です。1927年（昭和2年）に風連洞窟として国の天然記念物に指定されています。出入口が一方にしかない閉塞型の鍾乳洞で、外気の侵入が少なく風化が抑えられ、繊細に成長した鍾乳石の形成と美しい白色がよく保たれています。「日本で一番美しい天然記念物であり、代表的な鍾乳洞である」と評する人もいます。奥行きは約500mあり、3つの区域のうち最も奥に広がる「龍宮城」の中心には高さ10m周囲16mの範囲に100本以上にのぼる石筍群がそびえ、「競秀峰」と呼ばれて一番の見どころとなっていました。

その後空港に向かう途中、中津城に寄りました。この城は黒田如水が1588年豊臣秀吉から中津16万石を拝領し築きました。その後領主は細川氏、小笠原氏を経て、1717年（享保2年）に奥平氏が入城し、明治維新を迎えることとなります。現在の天守閣は、昭和39年に奥平家の子孫により築城されたものです。天守閣の内部には奥平家の宝物が展示されており、中には歴代の殿様の甲冑、長篠合戦図、掛け軸（徳川家康公より拝領）などがあります。また中津市には福澤諭吉の旧居があります。1835年（天保5年）大阪の中津藩屋敷で生まれた諭吉は、1歳6ヶ月の時父の死去により帰藩し、19歳までこの場所で過ごしました。現存する家は16歳の時に移り住んだものですが、残念ながら諭吉の家には時間がなく行けませんでした。中津市は城下町であり、情緒のある町だと思いました。

余談ですが、宇佐神宮へ向かう途中と帰る時に、山口県の2歳児を発見した、例の“ボランティアおじさん（尾島春夫さん）”が歩いているのを偶然見かけました。近くに住んで居られるようです。また、帰りの大分空港では、今放送されている朝ドラにも出演しているタレントの橋本マナミさんと同じ便でした。

- 出席** 会員48名中29名 **先々週の出席率** 91.30% (10/15)
- ゲスト** 三条市経済部長 長谷川正実様
- ビジター** 三条RCより 松永一義君 小出子恵出君
- 先週のメイクアップ**
 - 10/23 吉田RCへ 桑原朋子さん
 - 10/23 三条北RCへ 佐々木常行君 坂本洋司君 西潟精一君 吉沢栄一君
 - 10/25 三条東RCへ 坂本洋司君 塩入栄助君
 - 10/27 長岡東RC創立60周年記念式典へ 広岡豊樹君 松崎孝史君

受章おめでとうございます

瑞宝双光章

(学校保健功労)

渡邊 久晃 会員

平成30年秋の叙勲に際し、瑞宝双光章をいただくことになりました。

来る11月12日に伝達、そして天皇陛下に拝謁を賜りたく上京します。これも偏に、皆様のご協力の賜物と感謝します。

幹事報告

永桶 俊一 幹事

2018年11月ロータリーレートのご案内

1ドル=112円 (10月レート=112円)

高田東ロータリークラブより「創立50周年記念式典」のご案内

[日時] 平成31年4月14日(日)

創立記念式典 14時15分～

祝賀会 16時50分～

[会場] デュオ・セレッソ (上越市西城町)

ニコニコボックス

10月29日 ￥22,000
今年度累計 ￥198,000

- 三条RC 松永君** 地区大会では皆様にお世話になります。大会を目指して宜しくお願いいたします。
- 三条RC 小出君** 地区大会開催にあたり物心両面からご支援いただきありがとうございます。大会には大勢の方から参加いただけますように。
- 大溪君** 本日で会長代行1ヶ月です。早く田代会長に戻ってきてもらいたいです。本日の卓話、長谷川正実様、宜しくお願いいたします。
- 永桶君** だいぶ寒くなってきました。皆様体調を整えてロータリーの出席よろしくお祈いします。
- 野崎君** 長谷川経済部長、本日は卓話宜しくお願いいたします。
- 西巻君** 本日の卓話、お忙しい中、有難うございます。ご指導のほどよろしくお祈いします。

- 渡邊(久)君** この度、平成30年秋の叙勲に際し、瑞宝双光章をいただくことになりました。皆様のご協力の賜物と感謝します。
- 坪井君** 渡邊先生、受章おめでとうございます。
- 丸山(征)君** 先週の例会は台湾に行つて欠席しました。向こうはとても暑かったです。こちらはとても寒いです。
- 馬場君、銅冶君** BOXに協力します。
- 池田さん** BOXにご協力ありがとうございました。

卓話

「経済と地域社会の発展」

～地域のアイデンティティーを磨き上げ
グローバルニッチトップを目指す～

三条市経済部長 長谷川正実 様

～伝統技術の継承 燕三条の歴史：400年の技術を受け継ぐ～

燕三条地域の鍛冶技術は400年前、日本でいう江戸時代にさかのぼる。江戸時代初期に代官所奉行が河川の氾濫で苦しむ農民救済のため、和釘づくりを奨励したとされている。

しかしながら、鎖国が終了すると、洋釘の輸入が始まった。明治時代に入ると、職業が自由になり、鍛冶職人が増加し、和釘鍛冶が刃物鍛冶、銅器、やすり、煙管等へ転換するようになった。

近代では、手工業から動力化へ、家内工業から工場化へ変遷していき、ハンマーやプレスが中心になると新しい製品製造の転換が進んでいった。

さらにステンレス製洋食器が広まり、金属ハウスウェアの生産が高まってきた。

■1600年代前半

江戸時代初期に代官所奉行が河川の氾濫で苦しむ農民救済のため、和釘づくりを奨励したとされている。

鎖国が終了すると、洋釘の輸入が始まる。

「和釘」

■1800年代後半

鍛冶職人が増加し、和釘鍛冶が刃物鍛冶、銅器、やすり、煙管等へ転換

■1900年代後半

ハンマーやプレスが中心になると新しい製品製造の転換が進む。ステンレス製洋食器が広まり、金属ハウスウェアの生産が高まる。

～ 燕三条の産業：伝統的工芸品の認定 ～

燕三条の伝統的工芸品は2種。

伝統的工芸品とは、日常生活の用に供され、手工業により製造される織物、染色品、陶磁器、七宝焼、漆器、木工品、竹工品、金工品、仏壇、仏具、和紙、文具、石工品、人形、郷土玩具、扇子、団扇、和傘、提灯、和楽器、神祇調度、慶弔用品、工芸用具、工芸材料などを指すもの。

燕鋸起銅器は、銅版を鋸で叩いて立体的な器物を作る技術で、この地域における起源は江戸時代まで遡る。全国でも産地は燕市周辺に残るのみで、無形文化財に指定されている。

越後三条打刃物は、鉄を赤く熱し、「鍛造」によって鍛え、「焼入れ」で鋼を硬くし「研磨」によって鋼を削って刃をつける工程をとって造られる。高度な自由鍛造技術を駆使することに特徴がある。

■燕鋸起銅器（1981年に認定）

■越後三条打刃物（2009年に認定）

～ 燕三条製品の品質：海外からの高い評価 ～

■爪切り

英国王室御用達の爪切り。海外のセレブも愛用している

■カトラリー

- ・ノーベル賞の晩餐会用カトラリー
- ・デンマークの王室御用達。
- ・ニューヨーク近代美術館の永久保存デザインコレクションに選定

■木材加工品（お箸、カトラリー等）

クリスチャン・ディオールなどの世界の一流ブランドからの注文も

■チタン製リーフモニュメント

2012年ロンドン五輪の際に、ロンドンの街を盛り上げていたチタン製モニュメントを製作

～ 燕三条の高い技術力（市内企業の事例①）

■全国飲食チェーン店の厨房用品を支える企業

～ 燕三条の高い技術力（市内企業の事例②）

■ものづくり工場のまとめ役

～燕三条の産業：幅広い裾野産業～

多様な加工技術が集積した裾野の広い産業が形成されている

その結果 ～燕三条地域の業況は良い～

一方で 課題 ～ものづくり人材の不足～

■製造品出荷額の推移

出典：工業統計調査

課題 ～自然減：ものづくり人口の絶対数の減少～ ～社会減：若者の流出～

■三条市の人口推計

三条市は、年間1,000人程度のペースで人口が減少していくことが見込まれ、中でも着目すべき点は、生産年齢人口（15～64歳）が、20年後の平成47年には現在の3/4になると見込まれることである。

■平成22年の国勢調査結果

各世代の人口が5年前と比べてどのように変化したかを表すグラフ

東京都特別区の人口動態
若者世代の増加が著しい

三條市の人口動態
《大学卒業後》就職等に伴う復元力が弱い
《高校卒業後》進学等に伴う人口流出

平成27年の国勢調査結果

H17年からH22年とH22年からH27年の人口増減率の比較

復元力
▲1.3% → 5.9% (H22年) (H27年)
7.2ポイント改善!!

減少率
▲33.2% → 24.5% (H22年) (H27年)
8.7ポイント改善!!

着実に改善

平成17年・平成22年・平成27年「国勢調査」(総務省)を基に作成

課題 ～ 高齢化と後継者不足～

■ものづくり産業の経営者の状況

出典：平成28年・三条信用組合調査

人材不足が続くと
衰退の危機

若者の流出等による
人材不足

高度な技術を有する
ものづくり人材の高齢化

若者の転出抑制

高度なものづくり
人材の育成

人材育成・
確保が急務

実学系ものづくり大学（平成33年4月開設予定）

大学実現のため

育成人材像 【工学知識と技術 + 創造力 + テクノジ・マネジメント能力】を備えた人材

政策 ～BtoC と BtoB の2本柱～

○地域経済振興の成功モデル

途上国・新興国
加工組立型大企業を頂点とした中品質低価格製品の量産体制におけるサプライチェーンの構築
↓
日本や欧米では、上記モデルは通用しなくなってきた…

先進国（例：イタリア）
高付加価値製品や独自の技術を有し、大企業不在の特定分野で国際的に高い競争力とシェアを持つ地域企業が存在

フェラーリの聖地マラネロ
人口 1万7千人ほど
広さ：32.7km²

	イタリア型	日本型
都市づくり	保存型	開発型
都市の性格	個性的	非個性的
産業の特徴	グローバルニッチトップ集積	量産体制のサプライチェーン
都市構造	集約的	外延的

量産型「生産効率×労働コスト」からの脱却

三条市が目指す姿 ～欧州の地方都市～

スイス

- ・ピエニン (約5.4万人) オメガ、スウォッチ
- ・ラ・ショー・ド・フォン (約3.9万人) タグ・ホイヤー
- ・ヴヴェイ (約1.9万人) ネスレ

Nestlé **TAG Heuer** **OMEGA**

ドイツ

- ・エアランゲン (約11.0万人) シーメンスヘルスケア部門
- ・リュッセルスハイム・アム・マイン (約6.4万人) オペル
- ・ヴェッツラー (約5.2万人) ライカ
- ・ヴィンネンデン (約2.8万人) ケルヒャー
- ・ヘルツォーゲンアウラハ (約2.3万人) アディダス、プーマ
- ・クロンベルク・イム・タウヌス (約1.8万人) ブラウン
- ・ハイロイト (約7.3万人) ハイロイト音楽祭
- ・マイゼン (約2.8万人) ほか マイゼン

KARCHER **BRÄUN**

フランス

- ・ヌイ・シュル・セーヌ (約6.1万人) シャネル
- ・アヴィニョン (約9.2万人) アヴィニョン演劇祭
- ・カンヌ (約7.4万人) カンヌ国際映画祭
- ・エベルネ (約2.3万人) ドン・ペリニョン
- ・コニャック (約1.9万人) ほか コニャック
- ・シャモニー (約0.9万人) 登山、スキー
- ・バカラ (約0.5万人) バカラ
- ・シャブリ (約0.2万人) ほか シャブリ
- ・ヴォーヌ・ロマネ (約400人) ロマネ・コンテ

CHANEL

イタリア

- ・トレヴィーゾ (約8.4万人) テロンギ、ベネトン
- ・マラネッロ (約1.7万人) フェラーリ
- ・ガルドーネ・ヴァル・トロンピア (約1.2万人) ベレッタ
- ・サンターガタ・ボロニエーゼ (約0.7万人) ランボルギーニ
- ・モルヴェーナ (約0.3万人) ティーゼル
- ・クレモナ (約7.2万人) ヴァイオリン

Ferrari

B to C 政策① コト・ミチ人材活用事業

[H23年度-H24年度]

タダフサの経営改善

(指導者) 徳中川政七商店 代表 中川 政七

(新ブランド) 「庖丁工房タダフサ」 基本の三本、次の一本 (選びやすい本格庖丁)

(目玉商品) 「パン切り」 「パン屑が出ない」

[H27年10月]

タダフサの工場併設直営SHOPをオープン

(指導者) 柴メソッド 代表 山田 遊

(工場併設直営SHOP) 新ブランド「庖丁工房タダフサ」の世界観を表すSHOP

タダフサの売上等推移

万円 売上 (赤い棒) 従業員数 (黒い線)

H23年度 H29年度

価格以外の価値を重要視する市場を見出す「コト・ミチ人材」による独自の世界観に基づく製品開発支援

B to C 政策② 燕三条 工場の祭典

普段閉じている工場を一齐に開放し、ものづくりのプロセスや工場の様子などの魅力を体感してもらう。来場者はものづくり現場を間近で体感し製品に込められた価格以外の価値を感じ取ることができる。

B to C 政策③ ジャパン・ハウス ロンドン事業

■ ジャパン・ハウスと地域活性化プロジェクト

外務省がサンパウロ・ロサンゼルス・ロンドンの3都市に整備する新たな情報発信拠点。本年6月にオープンしたジャパン・ハウス ロンドンにおいて、「ジャパン・ハウス地域活性化プロジェクト」がスタート。その第一弾が燕三条地域だった。まだ対外的に知られていないような日本の地域の魅力、現地の人々が「知りたい日本」を積極的に世界に発信、地域活性化につなげることをコンセプトにした事業で、燕三条地域を皮切りに、今後、ジャパン・ハウス サンパウロ、ロサンゼルスにおいても、現地事務局が手掛ける地域活性化プロジェクトが推進される予定。

B to B 政策① リアル開発ラボ

ものづくり学校を拠点に地場のものでづくり企業の技術集積を活用した新たなものづくりに向けた事業を展開

異業種連携による製品開発 ものづくりのニーズ等幅広い見識を有する人材

← 提案指導

知的財産権取得を見据えたニーズに基づく商品開発に向けた市内企業の連携体制構築のための講座及び企業間マッチングを実施

部品加工系コト・ミチ人材を招聘したラボを開催し、①連携を通じた事業アイデアを創出 ②補助金やコンサルティングを活用した製品化を行いながら、個々企業の技術横展開を促す。

B to B 政策② 燕三条ものづくりメッセ

市内企業への波及効果が高い中核企業の仕事量の確保
 ⇒ 小規模事業所への仕事量の維持・拡大にも波及

金属加工技術の集積の強みに関する情報を発信するため、個々企業の技術力を製品として展示することで「ビジネスにつながるインパクト」を高める！

B to B 政策③ 三条ものづくり学校（擦り合わせの場）

廃校になった南小学校をリノベーション。
 「つなげる」「伝える」「育てる」をコンセプトにものづくり技術とデザインやアイデアを融合し、ものづくり事業の発展に寄与する拠点に。

共通（B to C、B to B）政策 海外販路の開拓

市内企業の経営基盤の維持存続に資する海外販路を確保するため、新たな顧客が見込める国や地域をターゲットとし、現地での展示会開催や販路開拓に関する市場調査等を実施。

共通（B to C、B to B）政策 工業団地の整備

まとめ
 経済と地域社会の発展
 ⇒ 地域のアイデンティティを明確にし、徹底的に磨き上げ、グローバルニッチトップを目指す！

三条市のアイデンティティは金属加工の幅広い裾野産業に裏付けされた“ものづくり”